

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 2 6 日 更新

事務事業名		合志市ふるさとサポーター事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1 自治の健康					所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施 策	1 市民参画によるまちづくりの推進					所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	2 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保					所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 11554	根拠法令	合志市ふるさとサポーター設置要綱		
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市外に在住する合志市出身者や合志市にゆかりのある人が本市のまちづくりに参画する機会を拡充することを目的として、平成22年11月に「合志市ふるさとサポーター設置要綱」を制定し事業を開始した。 登録者へは市からの情報提供を行ない、登録者はサポーターとして市の広報や支援活動を行なう。 また、市の魅力を全国に広く宣伝し、イメージの高揚を図ることによって、文化、産業、観光等に資することを目的に、平成27年7月には「合志市ふるさと大使設置要綱」11月には「こうし元気たい設置要綱」を制定し、それぞれ1名ずつ任命した。 登録者は市のPR、各種行事への協力等の活動を行ってもらうこととしている。令和5年3月末現在、12人が登録している。 令和5年7月、競技引退に伴いふるさと大使の退任式を行った。 令和6年度よりボランティア表彰等事業(11542)へ統合
【業務の流れ】	広報紙やホームページ等を利用して同制度の周知を図り、登録希望者を募集する。 登録者へは市からの情報提供を行ない、登録者はサポーターとして市の広報や支援活動を行なう。
【主な予算費目】	役務費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ふるさと大使辞任に伴い、活動の功績に対し、感謝状、金品の贈呈式を行った。ふるさとサポーターの登録希望者を募集した。また、登録者へ広報紙を発送し情報提供を行い、市の魅力を広く宣伝し、イメージの高揚を図った。(ふるさとサポーター人数14人)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・事務事業としてはボランティア表彰等事業(11542)に統合する。 ・サポーターとして登録希望者を募集し、登録を行う。 ・登録者への情報提供、まちづくりに関するサポーター活動を依頼する。 令和6年度より11542 ボランティア表彰等事業へ統合	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア サポーター登録制度周知回数	回	ボランティア表彰事業(11542)へ統合することによる事業費の減	
→ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・市外に在住する合志市出身者・関係者		→ ア サポーター登録者数	人
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・合志市のまちづくりに関するサポートを行なってもらう。		→ ア SNS発信数	回
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・名刺の配付率を成果指標とすることで、まちづくり活動を行なっていることを測ることができると考えた。			全体計画
			~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	2	1	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	13	14	20	14	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	回	0	0	50	11	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	14	13	16	116			
	(A) 事業費計		千円	14	13	16	116	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
			千円	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数		人	2	2	2	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	20	60	130	0	0	0	0
	(B) 人件費計		千円	78	228	517	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	92	241	533	116	0	0	0

事務事業名	合志市ふるさとサポーター事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	----------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 市からの情報提供は年12回の広報紙発送を行なった。SNS発信数：ふるさと大使6回、こうし元気たい5回
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 登録者へ再度名刺の発送を行ない、PRに活用してもらう。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 自治基本条例の理念に基づくまちづくりへの参画を広く呼びかけていくため、ホームページ等での周知を行ない、登録者増へつなげる。また、登録者への提供情報の充実を図っていく。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度よりボランティア表彰等事業（11542）へ統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 経費は必要最小限の役務費と需用費のみであり削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市を支援し、サポートをお願いする事業であり、受益者負担を求める事業ではない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の情報発信は市が行なうべきである。

3 評価結果の総括（CHECK）

登録者を増やしたいと考えるが、市外在住者が対象であるため、周知方法も限られ登録者数も目標達成していない。ツイッター等も活用し登録者を増やしていきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<